

■「if オブジェクト」の使用における「変数」と「条件式」の書き方について

if オブジェクトの書式 (1)

```
if (条件式) then (出力の設定)
```

if オブジェクトの書式 (2) if-else 文

```
if (条件式) then (出力の設定) else (出力の設定)
```

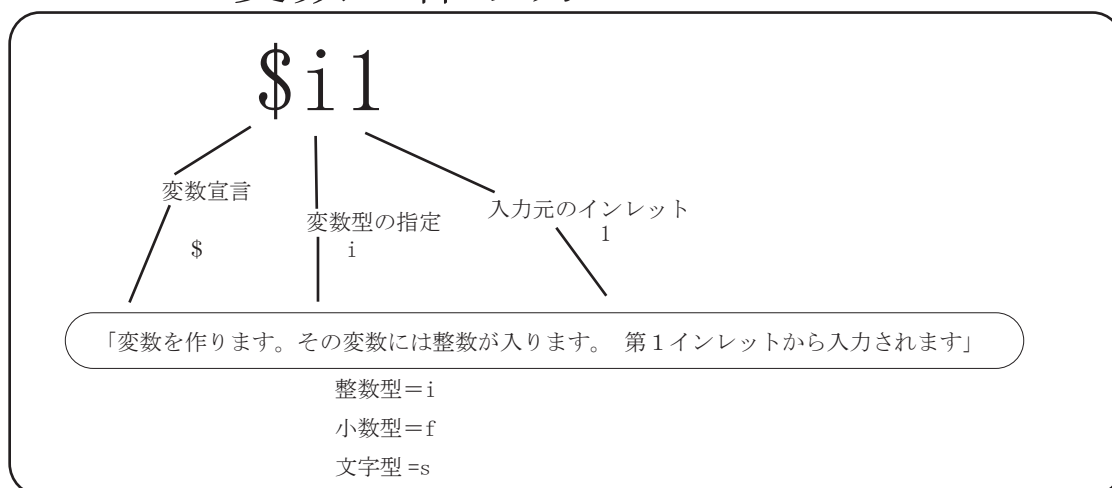
例: もし 左インレットからの入力が1なら bang

```
if $i1==1 then bang
```

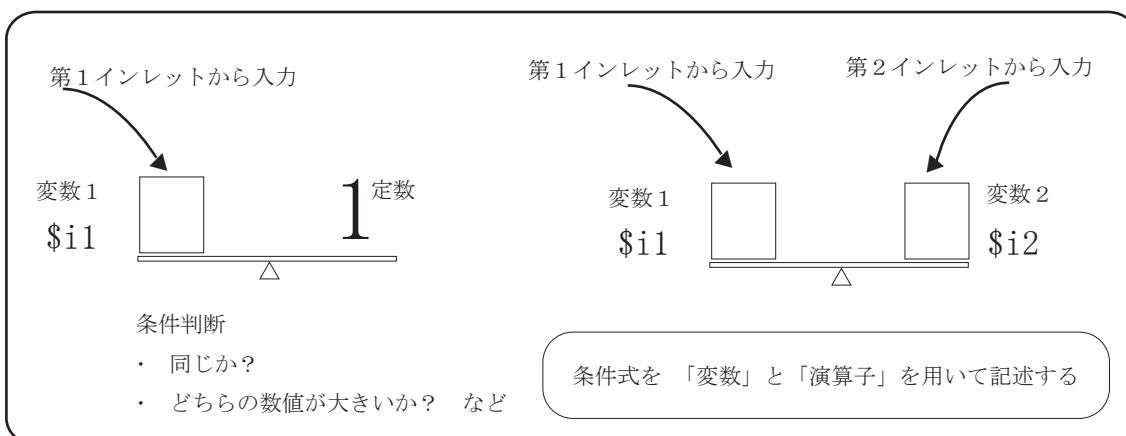
もし 左インレットからの入力が値「1」ならば、
左アウトレットから 値「1」を出力。
入力が1以外であれば、
左アウトレットから値「0」を出力。

```
if $i1==1 then 1 else 0
```

Max での変数の作り方



「変数」と「条件式」



●「比較演算子」 comparison operator

- A == B : A と B が同じであれば、
- A >= B
- A <= B
- A > B
- A < B

●「論理演算子」 logical operator

- A && B : A と B が共に「真」(true) であれば、(論理積 / AND)
- A || B : A と B のいずれかが「真」(true) であれば、(論理和 / OR)
- A != B : A と B とが異なれば、(否定 / NOT)

例 if \$i1 || \$i2 then bang